

# 岩手山南部曲り家再生プロジェクト クラウドファンディング事業のご報告



## ごあいさつ

国立岩手山青少年交流の家 所長 藤井 玄



曲り家はよみがえりました。昨秋に屋根の修復が終わり、すぐに絵本の読み聞かせや茅を使用した創作活動などの教育事業を実施しました。冬にはそりすべりやスノーシュー体験の昼食や休憩スペース（薪ストーブあり）として活用しました。修復からたった4ヶ月で、1,000名以上の子どもたちが曲り家の温かくも張り詰めた、格調ある空間に愉悅に浸りました。今後テニsparkではクラウドファンディングで頂いた寄附金を活かし、曲り家周辺の森を活かした「岩手山冒険村づくり」を計画しています。子どもたちが森じゅうを探索しながら、遊びをひらめける（遊びを想像できる）場を子どもの意欲や集中力、想像力と創造力などを育てるために設けていきたいと考えています。

最後に、この度の寄附に際しまして、心からお礼申し上げますとともに、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 曲り家修復工事のようす

令和6年7月から9月にかけて、曲り家の茅葺き屋根の修復と薪ストーブの新設工事を行いました。まず、修復に必要な屋根の材料であるヨシ束を搬入しました。このヨシは青森県で群生していたものを刈り取ったもので、搬入したヨシ束は812束になります。そして、腐食がひどかった東側屋根（谷面）及び西側屋根（表面）を修復し、綺麗に曲り家機能が再生され、更に薪ストーブも新設されました。



6月：ヨシの搬入



7月開始：東側屋根修繕



7月開始：西側屋根修繕



9月：東側屋根完成



9月：西側屋根完成



9月：薪ストーブ新設

## 返礼事業「茅葺き体験会」 令和6年11月2日（土）

クラウドファンディングの返礼事業（1万円以上寄付の方を対象）として「茅葺き体験会」を行いました。当施設にある茅場での葦の刈り取り、茅葺き屋根を修繕したばかりの曲り家において「茅葺き体験」（茅束づくり、差し茅作業）を体験できる機会を提供したほか、せんべい焼き体験、薪割り・薪ストーブ体験、囲炉裏を囲んでのせんべい汁のおふるまいなども行い、曲り家の魅力を存分に体感していただきました。



茅場での葦の刈り取り



差し茅体験



囲炉裏での南部せんべい焼き

## ■ 茅葺き体験会 参加者の感想

福崎家のみなさん（曲り家旧所有者） 福崎華織 さん



父の公博が高校生の頃まで住んでいた曲り家です。御所ダム建設のため、青年の家（当時）に移設されることになったそうです。移設後も何度か見に来たことがあります。祖父、父の思い出が詰まった曲り家が今もここにあり、子どもたちの体験の場として活用され、大切にされていることを見て、本当に嬉しく、家族一同感動しています。

上野武史さん、尊弘さん親子



人びとの思いや歴史がある伝統家屋を活かして学んだり、体験したりできて、自分が想像した10倍以上の価値を感じました。子どもも茅場に行ったり、茅束を作ったり、差し茅工法を体験できたりと盛りだくさんのプログラムで大変喜んでいました。今回はじめて曲り家の中に入り、その雰囲気を感じ、CFを通じて少しでも応援できてよかったです。

## 修復後の活用状況

### ■ 高校生「地域探究プログラム」オリエンテーション合宿 令和6年10月22日（火）～24日（木）

当施設では高校生を対象に探究的な学びをサポートする「地域探究プログラム」を提供し、その取組としてオリエンテーション合宿を行っています。このたび、曲り家と茅場をフィールドに、「茅場さんぽ」と茅創作の体験をとおして、茅（葦）の利活用について考え、歴史文化、生態系環境への理解を深める機会を提供しました。

「葦ストロー」の創作体験を通じて再生循環可能な自然物の使用による脱プラスチックといったことを想起しながら持続可能な社会の在り方を考える場になると考えたものです。また、郷土食「南部せんべいづくり」を通じて、郷土食の利活用についても考える機会としました。（講師：茅葺き職人の磯和亮治氏）



「茅場さんぽ」でのレクチャー



茅をめぐる生態系、歴史文化を学ぶ



葦ストロー創作のようす

### ■ おいでよ！岩手山曲り家ワークショップ 令和6年12月8日（日）

小学3～6年の親子を対象に、曲り家において郷土の昔話読み聞かせ、「茅あかり」の創作、かまどでつくったご飯とせんべい汁の実食といった体験企画を行いました。曲り家での暮らしを疑似体験し、家族団らんの時を過ごしなが、郷土の良さを体感し、茅のもつ可能性にも触れることで持続可能な社会の在り方も学べる事業としました。東北工業大学山田一裕研究室から「葦ブリケット（人工薪）」をご提供いただき、葦ブリケットによる薪ストーブ体験も行いました。



地域伝承の昔話読み聞かせ



「茅って何だろう？」のお話



「茅あかり」の創作

## 今後の曲り家活用

### ■ 曲り家宿泊の再開、曲り家での体験プログラムの提供

今回のみなさまのご支援による再生を機に、令和2年度から休止していた曲り家宿泊を再開します。また、岩手を代表する伝統菓子である南部せんべいの手作り体験や、自分で薪を割り、焚き火を起こすという自然と共生する体験も用意し、当施設の利用者に非日常体験を提供します。

これらの体験を通じて、地域の歴史や文化をリアルに学ぶだけでなく、次世代に伝えるための伝統の継承にも貢献することが期待できます。また、これらの活動は、持続可能な発展の在り方を学び、実践するための「ESD（持続可能な開発のための教育）」の場としても重要な役割を果たすと考えられます。

### ■ 曲り家を拠点とした「岩手山冒険村」～子どもたちが自然の中で思う存分遊べる場～

さらに、周辺に広がる豊かな森や自然環境を活かし、曲り家一帯を「岩手山冒険村」として整備する計画が進行中です。この冒険村では、春夏秋冬それぞれの季節の美しさを感じながら、子どもたちが自然の中で遊びを創造できる場を設ける予定です。例えば、森の中を走り回って木登りしたり、落ちた枯れ枝や枯れ葉を集めて焚き火をしたり、曲り家で木の実や枝などを使った創作物を作ったり、自然や岩手の伝承にまつわる絵本を読んだり、とにかく子どもが好きなことを好きなだけ遊べる場を提供していきます。

このように、曲り家は単なる伝統的建物としてだけでなく、地域の伝統と自然を融合した「学び」と「体験」の中心地として、新たな価値を創造し続けます。今回のプロジェクトが人々の心に自然や地域文化の大切さを再認識させ、未来への架け橋となることを期待しています。



## クラウドファンディングの取組



### ■クラウドファンディング（CF）の実施

曲り家修繕工事に必要な費用（約1,200万円）のうち、不足する300万円を調達するため、クラウドファンディング（CF）を通じて広く支援を呼びかけました。

令和5年10月2日から同年12月10日までの間、CFを通じて100万円、延べ85名の方々からご支援をいただきました。

当施設公式InstagramやYouTubeチャンネルで広報を行ったほか、河北新報、岩手日報、NHK盛岡放送局でもCFを取り上げていただきました。

多くの皆様からのご支援に感謝申し上げます。

なお、CFの活動報告等は、現在もプラットフォームサイトCAMPFIREでご覧いただくことができます。

### 支援者のご芳名（五千円以上）※順不同

- 藤代 國忠 様
- Earth Building Iwate 磯和 亮治 様
- 菊池信太郎 様
- 苅宿 吉宏 様
- 大森 信慈 様
- 小野 晴次 様
- 上杉 明 様
- 澤柳 健一 様
- 栗岩 洋 様
- 渡邊 圭 様
- 鈴木まほろ 様
- 菅原まゆみ 様
- 佐藤 和行 様
- 中村 聡 様
- 株式会社白ゆり 様
- 盛岡スポーツ施設株式会社 様
- 佐々木輝人 様
- 板澤 毅尚 様
- 長谷川祐太 様
- 有限会社二和木材 様
- 鈴木 啓二 様
- 晴山 佑樹 様
- 株式会社いんベリネンサプライ 様
- 三浦勇次郎 様
- 株式会社小山商会盛岡営業所 様
- 柳村 博行 様
- 有吉 義之 様
- 村角 宜慶 様
- 西田 智則 様
- 伊原 丈人 様
- 濱崎 雄二 様
- 有井 勝俊 様
- 高杉 諭史 様
- 八重樫誉子 様
- 中村 信子 様
- 千葉 裕美 様
- 奈良 義美 様
- 桑山 宗大 様
- 越田 晶子 様
- 山口 恭一 様
- 横澤 繁 様
- 田口 直彦 様
- 奥村 英則 様
- 佐藤 宏紀 様
- 檜木 裕朗 様
- 鈴木 巴菜 様
- 岩手県キャンプ協会 様
- 安倍喜代二 様
- 株式会社平金商店 様
- 鈴木太伽良 様
- 布澤 文理 様
- 盛岡ガス燃料株式会社 様
- 株式会社三幸堂ビジネス盛岡店 様
- 有限会社メンテックス 様
- 福崎 公博 様
- 株式会社トライス 様
- 株式会社浅沼工務店 様
- 松栄商事株式会社 様
- 上野 武史 様
- 藤井 玄 様

ほか掲載を希望されない方9名

### 【ご案内】

今後とも当施設へのご支援のほど宜しくお願いいたします。  
当施設での活動のようすを公式SNSにて発信しております。

